

since 1918



YOKOHAMA SHINKO WAREHOUSING Inc.

# Integrity

# 安心を、あずかる。

—— 横浜新港倉庫 ——

保管業務は、貨物を単純にお預かりするだけではありません。

安全かつ品質を落とさず、フラットな状態を保ちたい。安心して預けられる場所でありたい。

今日も期待に応えるべく、業務を遂行しています。



横浜中華街の麻婆豆腐は  
私が見守ったスパイズで  
できている。(かもしれない)

唐辛子や陳皮、花椒、八角、……。  
横浜中華街では、香辛料は料理の神髄。  
多種多様な香辛料がふんだんに使われています。  
私たち横浜新港倉庫株式会社では、香辛料の香  
りが互いに移らないように保管場所に最善の配  
慮をし、見守っています。



ウチのサイロで預かった  
セメントが、あの建物の  
基礎をつくっている。

建物の基礎づくりに欠かせないセメントは、空気  
中の水分を吸収すると劣化しやすいセンシティブ  
なもの。本牧事業所の当社サイロは各種セメン  
トの風化を最小限に抑えて保管します。

タンカー船からサイロまで圧送式空気輸送で搬  
入し、24時間365日対応可能な自動出荷システ  
ムを完備しています。





## 倉庫業の基本を守り続けています。

食品から工業製品にいたるまで、多種多彩な貨物を取り扱い、  
それぞれに合わせた品質管理のもと、お客様へお届けします。

品質第一の運営方針。

品質第一の運営方針。



設備の異なる3タイプの倉庫を運営。

貨物の特性に合わせ、最適な環境を。

私たち3タイプの倉庫を完備し、特性に合った環境を提供しています。

大黒倉庫ではコーヒー豆や香辛料などデリケートな貨物を保管。

大黒埠頭物流倉庫では-25℃の冷凍から常温にいたるまで異なる温度管理が可能です。

本牧事業所では各種セメントや石炭灰(JIS灰)を保管。定期的にメンテナンスを行い、落雷や台風などの災害時にも備えています。

## 大黒倉庫（KSK）

貨物の特性に合わせ、最適な状態を「保持」して「管理」する大黒倉庫には、保管業務の基本があります。

主に食品の保管に適した定温倉庫。首都高速湾岸線、横羽線へのアクセスも良好、輸送ルートにも便利なロケーションです。

たとえばコーヒー豆なら、カビが発生しないよう、空気にふれやすく乾燥した状態に。カカオ豆なら、産地によって発生してしまう虫に対して適切な燻蒸処理を。お客様からお預かりした商品は、劣化することなく送り出すことを基本に、温度管理はもちろん、倉庫内の防虫対策も万全です。

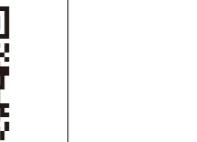
取扱貨物実績

コーヒー豆・カカオ豆・香辛料・健康食品原料・肥料・  
飼料・脱脂粉乳

所在地 横浜市鶴見区大黒ふ頭1

TEL 045-521-1287 FAX 045-521-9120

MAP



## 大黒埠頭物流倉庫(DBS)

1棟内で、冷凍・冷蔵・低温・定温・常温での保管が可能。大黒埠頭物流倉庫には、長きにわたる信頼があります。

横浜港でも数少ない5つの温度帯での保管に対応。首都高速湾岸線、横羽線にもほど近く、スピーディーな集荷・配送を可能にします。

-25℃の冷凍をはじめ、冷蔵、低温、定温、常温と、異なる温度管理を1棟内で保管できる大黒埠頭物流倉庫。毎日の暮らしにも身近なあらゆるタイプの食品や食材を保管し、季節に応じた温度管理も徹底。

20年以上にも及ぶ大手物流メーカーとの契約は、信頼の証でもあります。



## 本牧事業所

24時間、365日の自動出荷システムと、きめ細やかなフォロー。  
本牧事業所には、お客様のニーズに応える対応力があります。  
全国的にも減少傾向にあるサイロ。海を見下ろすかのようにそびえ立つ本牧事業所の4基のサイロでは、3基が10,000トン、1基が5,000トンの保管が可能。  
そのうち2基は自動出荷システムによって、24時間365日稼働しています。  
  
本牧事業所のサイロでは、建築現場を支えるセメント・石炭灰を搬入・保管しています。  
定期的にメンテナンスを行い、万全を期すとともに、落雷や台風・大雨による漏電など、  
万が一のトラブル時には、素早く適切な対応力でサポートします。

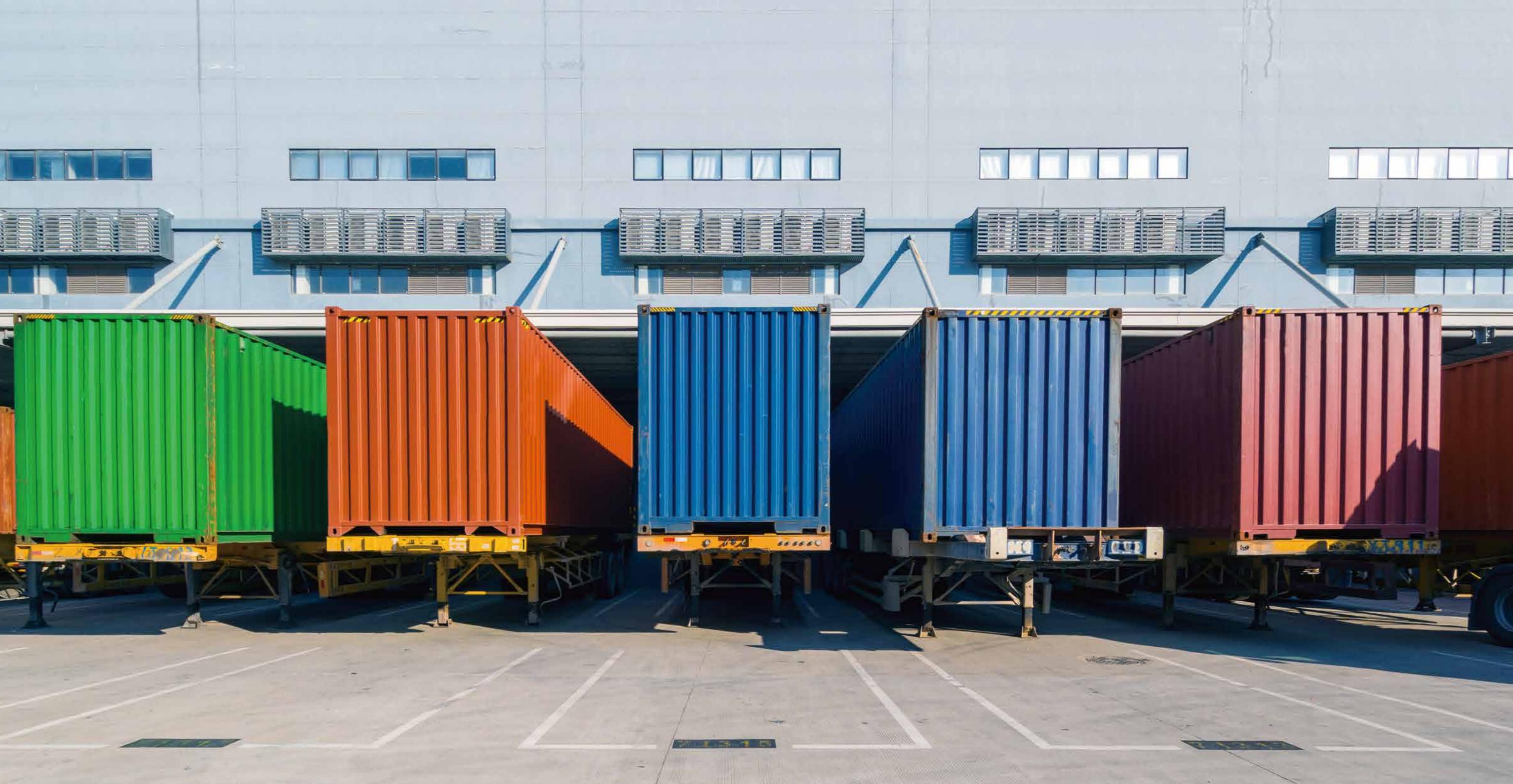


## 取扱貨物実績



## 付帯作業

プラスアルファの付帯作業で、より効率的でスピーディーな物流をサポートします。  
貨物の搬入から管理、出荷といった倉庫会社の基本業務に加え、検品、計量、ラベリング、  
梱包・再梱包など、倉庫内でのさまざまな付帯サービスを行い、お客様のニーズにきめ  
細やかに対応します。



横浜の地で、一世紀。  
日本の物流を支えてきた倉庫の歴史とともに。

幕末に誕生した貿易港・横浜港。開港当時から多くの人とモノが往来しました。

今もなお異国情緒あふれる香りが街全体を覆う港町・ヨコハマ。

私たち横浜新港倉庫株式会社は、数々の貨物を預かり  
街の発展に寄与しつつ、安心を届けています。





## History



YOKOHAMA  
SHINKO WAREHOUSING Inc.

- |   |   |  |   |   |   |  |                                |
|---|---|--|---|---|---|--|--------------------------------|
| 1918<br>大正7.2<br>地元倉庫会社4社の<br>共同出資により設立       | 1927<br>昭和2.12<br>耐震耐火の鉄筋コンクリート造<br>3階建倉庫(A号倉庫)完成 | 1945<br>昭和20.8<br>終戦とともに米進駐軍により<br>残存倉庫すべて接収 | 1969<br>昭和44.7<br>新港ふ頭に<br>鋼板造サイロ22基完成      | 1995<br>平成7.11<br>みなとみらい21計画の<br>進展に伴い、本社移転     | 1999<br>平成11.1<br>大黒ふ頭の総合保税地域に<br>Y-CC事業所を開設          | 2005<br>平成17.6<br>業務の標準化・改善を目的に<br>ISO 9001取得  | 2012<br>平成24.8<br>本社を横浜平和ビルに移転 |
| 1918<br>大正7.5<br>新港ふ頭内の6,000余坪の<br>土地に倉庫7棟を建設 | 1944<br>昭和19.5<br>日本倉庫統制株式会社設立<br>全倉庫施設を同社に提供     | 1952<br>昭和27.3<br>接収解除がはじまる<br>順次倉庫の再建に着手    | 1982<br>昭和57.4<br>大黒ふ頭に神奈川倉庫<br>事業協同組合の倉庫完成 | 1996<br>平成8.3<br>新港ふ頭の旧本社及び<br>倉庫施設解体、撤去完了      | 2003<br>平成15.11<br>Y-CC事業所にて<br>トランクルーム事業開始           | 2006<br>平成18.4<br>倉庫部門のノウハウを活かし<br>物流事業に本格的に参入 | 2018<br>平成30.2<br>創立100周年      |
| 1923<br>大正12.9<br>関東大震災によりすべての<br>倉庫が倒壊、焼失    | 1945<br>昭和20.5<br>大空襲により<br>施設の大半を焼失              | 1965<br>昭和40.1<br>山下ふ頭に鉄筋コンクリート造<br>サイロ29基完成 | 1988<br>昭和63.6<br>本牧新建材ふ頭に<br>セメント専用サイロ4基完成 | 1997<br>平成9.4<br>大黒ふ頭に冷凍・冷蔵設備を<br>備えた大黒埠頭物流倉庫完成 | 2004<br>平成16<br>社内ノウハウ・BtoC ビジネスの<br>強化を目指し、異業種事業へも参入 | 2006<br>平成18.5<br>本社をセボン関内第2ビルに移転              | 2020<br>令和2.2<br>コーポレートロゴを刷新   |





どのような仕事でも最善を尽くす。

この姿勢がお客様の信用を得ることにつながり、自身の成長につながる。

代表取締役社長 左右田 憲一

## 社是

### 至誠

何事を行うにも真剣に誠意をもって当たること  
全員が創業の精神を保ち、どのような小さなことも勇気を持って誠心誠意勤めるならば成就しない仕事はない

### 分度

自らの力を認識し、計画に基づいた判断による行動をとること  
分度とは十分な調査を裏付けとし、明解な目標を設定することをいう

### 勤労

至誠を実行すること  
勤労とは現状を惰性的に繰り返すのではなく、同じ仕事をするにしても以前よりも進歩させたものにしていかなければならない

### 推譲

勤労・分度により得たものを社会に還元し、豊かで幸福な社会を実現すること  
推譲とは企業活動を通じて社会に貢献することに他ならない

## 会社概要

会社名 | 横浜新港倉庫株式会社

設立年月日 | 1918年(大正7年)2月28日

資本金 | 8千万円

代表取締役会長 | 左右田 照夫

代表取締役社長 | 左右田 憲一

所在地 | 〒231-0005  
神奈川県横浜市中区本町3-30-7  
横浜平和ビル  
TEL | 045-201-1551 FAX | 045-211-2591



# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsは国連が「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で示した2016年から2030年までの国際的な開発目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、政府や機関、そして企業の社会的責任として、持続可能な社会のための取り組みが求められています。

横浜新港倉庫株式会社は、国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を推進し、物流をはじめとした様々な事業活動を通じて、社会課題の解決と価値の創造に取り組んでおります。

## ダイバーシティの推進

性別、年齢、性格、生まれ、経済的地位などに関わりなく、多様な背景や価値観をもつすべての人に経済活動への参加を促進します。

- ・2020年新卒採用の女性割合4割(採用前までの正社員女性割合約3割)
- ・育児・介護休暇や時短勤務制度の積極的な活用を行っています。
- ・専門性の高い異業種からの積極的な人材登用も行っています。
- ・風通しの良い社風と公平な評価制度を構築しています。



## ワークライフバランス推進

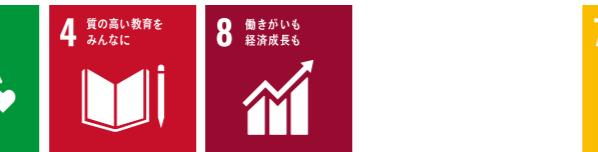
社員一人ひとりがやりがいや充実感を得ながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家族と仕事の両立が可能な働きやすい環境整備や、所定外労働時間の削減・有給取得率の向上などに取り組んでいます。また、小学校5年生から高等学校3年生までの子女がいる正社員全員に、定額の教育手当を支給しています。



## 安全労働の推進

労働災害ゼロの実現をめざして、従業員が安全に作業に集中できる環境を整えています。またフォークリフト免許などの業務に必要な資格のみでなく、安全にかかわる資格取得や講習を積極的に支援しています。

- ・必要な資格取得や安全教育の積極的支援
- ・自主的な安全パトロールの毎月実施



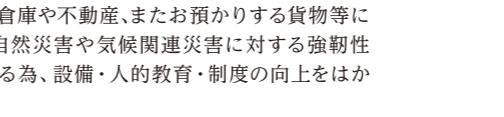
## 環境負荷低減

環境への取り組みを重要な社会的責任の一つとして位置づけ、排ガスの無いバッテリーフォークリフトの導入など、CO2排出量削減の活動を通して、環境負荷の低減に力を入れています。

- ・営業所や倉庫照明のLED化を進めています。
- ・所有するフォークリフト及び社用車のクリーン化を進めています。



## 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



所有する倉庫や不動産、またお預かりする貨物等について、自然災害や気候関連災害に対する強靭性を強化する為、設備・人的教育・制度の向上をかけられます。

## 省人化・自動化システムの導入

年齢・性別・国籍を問わず、誰でも使える自動倉庫化と省力化システムの導入を進め、すべての人に持続的な働きがいのある仕事を推進しつつ、効率のよい事業運営を目指します。



未来への可能性を見つめて  
つぎの100年へ。



歩んできた100年を、これからの100年へ着実につなぎたい。  
そのためにはどうすべきか。どのように横浜の街へ、日本へ貢献できるか。  
倉庫業の可能性をさらに追求し、一歩。また一歩。つぎの100年を歩んでいきます。

# Integrity

インテグリティ [英 : Integrity]

正直さの実践と共に、高い道徳・倫理的な原則と  
価値観を持って、一貫し妥協なくそれらを遵守する振る舞い。

1. 正直、誠実、高潔、廉直
2. 完全な状態、無欠、もとのままの状態、無傷の状態
- 2-a.(構造的な)一貫性、統一性、整合性



横浜新港倉庫 株式  
会社  
YOKOHAMA SHINKO WAREHOUSING Inc.

神奈川県横浜市中区本町 3-30-7 横浜平和ビル

TEL 045-201-1551 FAX 045-211-2591



[www.sinko-soko.jp](http://www.sinko-soko.jp)

2021年2月第1版

